

今後の原子力政策の方向性と行動指針

経済産業省資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力政策課 パブリックコメント担当 宛

「今後の原子力政策の方向性と行動指針（案）」に対する意見

[氏名]

玉田文男

[住所] 栃木市片柳町

[意見]

2P・・「ALPS 処理水の海洋放出を行う方針を決定した」事の撤回を求めます。そもそも、『「漁協」の同意なく海洋放出はしない』約束だった。海洋放出以外の方法もありえたはず（固形化・タンク増設など）それが『漁業者等への丁寧な説明』などと言うのは誤魔化すことになっています。

7P・・2) 運転期間の延長など既設原発の最大限活用
に反対します。フクシマを忘れたのか！！と、怒りを覚えます。「トイレなきマンション」の原子力には未来はありません。

また『・・東京電力福島第一原子力発電所事故の最大の教訓である「安全神話からの脱却」』などといいながら『国民各層とのコミュニケーション』もなく再稼働・運転延期など大反対です。

9P・・3) 新たな安全メカニズムを組み込んだ次世代革新炉の開発・建設
これも、大反対です。第一「放射性廃棄物」はどうするのですか？事故は絶対起きないなどと言えますか！ よって、19P『②海外プロジェクトへの参画支援』はやめましょう。

なお、13P「人材育成等の取組の強化」をいうならフクシマを経験した日本こそが『廃炉技術の革新的技術開発』を行い世界の原発廃炉に貢献すべきです。

20P・・『米国等の同志国との連携によるウクライナ及びその周辺国に対する安全で信頼性の高い原子力発電所の導入支援』――など、本気ですか？！信じられな～い。